

川俣町前田遺跡の調査について

公益財団法人福島県文化振興財団
遺跡調査部 三浦 武司

はじめに

公益財団法人福島県文化振興財団では、福島県教育委員会の委託を受け、国道 114 号（山木屋 1 工区）改良工事にもなう前田遺跡の発掘調査を 4 か年にわたって行いました。今年度から発掘調査報告書作製のための整理作業を進めています。見つかった住居跡や柱穴などの遺構、土器や石器などの遺物について、それぞれの年代や特徴を詳しく分析し、報告書としてまとめます。前田遺跡では、有機質資料を含む多種多様な遺物が出土しました。理科学的分野の研究者も含め多くの方々の協力を得て研究を進めています。その中で、新たな発見に驚き、縄文人の考えや行動などを感じ取ることもあります。今回は、そのような作業の中で少しずつ分かってきたことの一部をご紹介します。



前田遺跡出土品を調べる

前田遺跡出土資料では、様々な分野からの協力を得ながら多くの分析を行っています。分析調査することで、製作年代や使用年代、縄文人の技術、使用した材質などの情報を得ることができます。それは縄文時代の新しい姿を映し出す手掛かりになります。さらに、この情報は、出土資料の保管や保存処理を行う際にも重要な役割を果たします。資料の構造や劣化状態などを知ることで、最適な環境を保って後世に残していくための重要な情報源にもなります。

どんな方法	なにを調べる？	なにがわかる？
樹種同定	木の種類を調べる	道具の木の利用がわかる
¹⁴ C年代測定法	年代を調べる	製作、使用、伐採などの年代がわかる
塗膜分析	資料の断面を調べる	塗料の材料、塗装工程がわかる
蛍光X線分析	構成元素を調べる	顔料や混和材の種類がわかる
赤外分光分析	有機質資料の化合物を調べる	塗料や接着剤などの種類がわかる
X線CT法	製品内部を調べる	肉眼で見えなかった構造がわかる

まさに適材適所

前田遺跡の木製品の素材の樹種を見てみると、まさに「適材適所」です。前田縄文人は、道具の特徴や使用法に合わせて樹種を選択して使用したことがわかってきました。容器類は、現在の漆器でも使われる木目の美しい樹種を選択しています。石斧の柄は堅い樹種の枝分かれした部分を上手に利用しています。刈払具や土掘具は、真っすぐに伸びる長くしなやかな樹種を用いています。弓には、ニシキギ属のみを厳選しています。縄文人たちは、木取りや木目、節の有無など、素材とする材の形や特性をよく理解した上で選別を行う、優秀な「木の目利き」であったようです。

道具の種類	素材とした木の種類
容器類	ケンボナシ属・ケヤキ・カエデ属・トチノキ・カツラ属
石斧柄	ニレ属・クマノミズキ属・コナラ属コナラ節・カエデ属
刈払具	ムラサキシキブ属・ガズミ属
土掘具	ムラサキシキブ属
弓（弓幹）	ニシキギ属

前田遺跡と漆とウルシ

縄文人とウルシ（漆）は古くから関わり合いがあったようです。漆は、塗料・接着剤として利用されてきました。前田遺跡でも木器や土器、植物繊維に使われています。さらに遺跡内からは、掻き傷のあるウルシ木、製作途中の器、漆液容器、赤色顔料のベンガラとそれを粉砕する石器そして多くの漆製品が見つかります。

時期	年代	できごと	主な遺跡	
草創期	約15,000～11,000年前	土器が製作され始める/竇穴住居が造られる/弓矢の発明/ツルシが日本に存在	熊谷遺跡（熊谷郡）	
縄文時代	中期	土器が普遍的に作られる/集落が形成される/貝塚が形成される/漆の用途の拡大？	堀ノ島遺跡（北海道） 三引遺跡（石川県）	
	前期	7,000～5,500年前	気候の温暖化・海面上昇（縄文海進）/稲作集落が造られ始める/土器の器種の多様化/漆料用が多く認められるようになる	太牛遺跡（静岡県）/大武遺跡（静岡県） 熊谷遺跡（福井県）/岸田遺跡（山形県）
	中期	5,500～4,500年前	大規模集落の形成/土器の大型化・立体的な装飾	デーノタマ遺跡（埼玉県）/前田遺跡
	後期	4,500～3,200年前	集落の小規模化と拡散/土器の精緻の増進/仏土器の利用の増加/全国的な漆器の増加	下七郎遺跡（東京都）/南沢遺跡（埼玉県）/上里地台遺跡（茨城県）/分谷地人遺跡（新潟県）/茨城土城遺跡（北海道）
	晩期	3,200～2,300年前	屈折的や手法の土器が造られる/竇穴住居の増加/竇穴住居の製作/赤土製の漆器	青野原遺跡（熊本県）/貫山遺跡（新潟県） 野井中野遺跡（群馬県）/堀ノ島遺跡（青森県）/花巻遺跡（福島県）

おわりに

前田遺跡の縄文人は、素材を選ぶ確かな目と知識、卓越した木工技術、高度な漆塗技術、鮮やかな色彩感覚などに長け、現代の私たちにとっても驚きの発見ばかりです。さらに、これらがまとめて見つかったことで、植物資源を利用した当時の生活が見えてきました。前田遺跡を手がかりとした「読み直すふくしまの歴史」は、まだまだ続きます。

To be continued . . .